

## 飯能の畠山重忠伝説 ～「鎌倉殿の 13 人」にちなんで～

引間 隆文

昨年大河ドラマ「青天を衝け」は、渋沢栄一が主人公ということもあり、埼玉県内各所で関連企画が開催されなかなかの盛り上がりでした。当館もパネル展などの関連事業を開催し、多くの方にお越しいただきました。ドラマとしても見ごたえのある作品でした。



本郷大六天青石塔婆と榎樹  
飯能市生涯学習課提供

今年の「鎌倉殿の 13 人」は、三谷幸喜氏らしさ満載で、「青天を～」と同様に毎週日曜日が待ち遠しく思える作品です。

「青天を～」では飯能が劇中に登場しましたが、「鎌倉殿の～」への登場は難しいでしょう。「鎌倉殿の～」には埼玉ゆかりの武人も登場しますが、彼らとの強い所縁を示す歴史的なスポットは、残念ながら飯能では見当たらないからです。しかし、伝説の世界であれば、飯能にも関連スポットが多数存在しています。

中でも畠山重忠にまつわる伝説は、数多く伝えられています。「鎌倉殿の～」では中川大志さんが実直な重忠を好演していますが、歴史的にも文武に秀でた「武蔵武士の鑑」として重忠は尊敬されてきました。また、秩父を拠点とした秩父氏の流れを汲む人物であることから、飯能の人々にとってはより身近に感じられたのかもしれませんが。



伝・常盤御前の墓(多峯主山)

市内本郷には重忠の墓とされる地があり、「本郷大六天青石塔婆と榎樹」の名称で市の史跡に指定されています。伝説では、二俣川(現・神奈川県横浜市)で討死した重忠の遺体を運んでいたところ、この地に至って車が動かなくなりそのまま埋葬したとされています。ただ、重忠の墓とされる地は他にもあり、『畠山重忠辞典』には本郷の他に 4 か所が掲載されています。

他にも重忠に関する伝説は、吾野・岩殿観音の「重忠の馬蹄跡」など多々ありますが、個人的には名栗の地名にまつわ

る伝説がおすすめです。

かつて重忠が、妻と秩父から名栗へ抜けた時の事。妻には近道の峠を、自分は少し廻り道となる峠を山伏姿で歩いたのだそうです。後に、妻が通った峠を「妻坂峠」、重忠が通った峠を「山伏峠」、待ち合わせの場を「マチ」(後にマジ・間地。今の名郷)、遅れた妻を迎えに行き出会った場所を「アウバト」(合う場戸。今の大場戸)と呼ぶようになったと伝えられています。なんともロマンあふれる伝説です。

飯能には、重忠の他にも、菅田将暉さん演じる源義経や、義経の母である常盤御前にまつわる伝説も伝わっています。ちょっと斜めすぎるかもしれませんが、こんな角度からドラマを楽しむのも一興ではないでしょうか。

### 【参考文献】

新井 清寿『飯能の伝説』 飯能郷土史研究会 昭和 51(1976)年 4 月

町田 泰子『名栗の伝説』 私家版 昭和 61(1986)年 2 月

深谷市教育委員会編『畠山重忠辞典』 令和 2(2020)年 7 月